

# 岐阜県嚙下障害研究会

# モグモグ通信

## No. 26 (2015. 5 発行)

11月22日の  
学術講演会  
東濃大会へ、た  
くさんのご参  
加をお待ちし  
ています！



発行所：岐阜県嚙下障害研究会  
事務局：土岐市立総合病院 ST 室

「切れ目のない支援を・・・」

第 18 回岐学術講演会東濃大会  
大会長 品川康一郎  
(社会医療法人 厚生会  
多治見市民病院  
総合リハビリ主任 言語聴覚士)



多治見市民病院で言語聴覚士をしております品川康一郎です。今大会の大会長を承りました。岐阜県嚙下障害研究会では、色々な研修会に参加させていただき、また理事として会員の皆様には大変お世話になってまいりました。微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てればという思いで、引き受けさせていただきました。

当院は、川沿いに面した山と街並みを見渡せる場所に建っております。当院の基本理念は「どなたでも最良・最適な医療が受けられるようにと常に患者さんの立場・視点に立った医療の実践を目指し、「病める人の立場に立った医療、新しい医療サービスの提供」として明示しております。近年、医療を取りまく社会環境が大きく変化しており、病院を利用される患者さんのニーズも変化しています。全国的にみてもそうですが、この地域においても高齢化の波が押し寄せております。その中で、病気の治療を中心とした医療から、疾病の予防のための健康管理、さらには退院後の生活にまで及んだ幅広い分野が、これからはさらに求められると考えます。そのためにも医療から福祉が、切れ目のない継続するための連携が必要です。地域の医療機関やそして在宅と一層連携を深めて、継続したサービスの提供に努めて行かなくてはなりません。そこで、今年の学術講演会では、菊谷武先生(日本歯科大学教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)をお招きして特別講演をしていただきます。大会テーマ「みんなで

作ろう、みんなで繋がる、みんなの思い！～病院から施設、在宅まで切れ目のない支援をするには～」に沿って、先生の日頃の臨床やどのようにしたら他職種との連携をうまく行えるのか、また患者様や利用者の皆様とのかかわりの仕方など、様々な視点からお話していただく予定です。先生のお話から、何か解決の糸口が見つかるのではないのでしょうか。

午後は、前回、この東濃大会で行いましたが、聴いて終わるのではなく、参加型の企画を考えております。事前に参加申し込みをする際に、皆様からアンケートを取り、日常の疑問や困っていることを意見として出してもらい、当日その中からまとめたものを幾つか提示します。それをみなさんで考え、意見を言い合いまとめたものを、各専門領域のスペシャリストに訊いて答えてもらおうと考えております。受け身ではなく、発信型の研修会にしていきたいと思っております。同職種だけでなく、さらに他職種への理解や交流にも繋がるのではないかと考えます。ここから出たご意見が、今後の研究会のあり方や研修会の企画・運営などに参考となると考えます。午後の企画に関しては、皆様からの意見が大変重要になります。参加申し込みの際には、是非ご意見をお書きください。できれば早めに申込みをしていただくとありがたいです。意見を沢山いただけることが、この企画の成功の鍵となります。どうぞよろしくお願いいたします。会場は、多治見市にありますセラミックパーク MINO で、開催日は11月22日(日)とちょうど連休の中日となっております。近くには土岐プレミアムアウトレットや美濃焼・修道院・国宝永保寺など、様々な観光場所がたくさんあります。近くには高速のインターもありアクセスも良いです。秋の行楽を兼ねて、是非多くの皆様の参加をお待ちしております。

## 平成26年度第1回 研修会レポート

認定看護師による研修会を開催して

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院  
摂食・嚥下障害看護認定看護師  
二村 洋代

現在、県内の摂食・嚥下障害看護認定看護師3名で、今回2回目の研修会を1月24日(土)に開催しました。内容は、1. 摂食・嚥下のメカニズムと評価 2. パーキンソン病のある患者の看護 3. 認知症の患者への看護でしたが、豊島会長からこの企画の依頼があってから、3人で話し合いの結果、多い病名や症状、実際のケアや対応で困る疾患や場面について取り上げることにし、3年に3回の研修会で、2・3については毎年異なる内容を企画しました。

参加者は歯科衛生士や言語聴覚士、看護師、管理栄養士、歯科医、ケアマネージャー、ケアワーカーと、多職種の方が参加されました。

講義は、「明日からの看護に活かすことができる」を目標にし、まず基本的な摂食・嚥下のメカニズムから食事の場面での評価・訓練時に注意する点など説明しました。田中さんからはパーキンソン病について、植木さんからは認知症のケア方法については、それぞれ症例を提示しながら説明されたため、アンケートでは「わかりやすい内容でした」「勉強になりました」「復習を兼ねた形で聞け良かった」「実践していきたい」「現在行っている事が正しいのか、もっとできることがあるのではないか、考えることができました」などと良い評価がいただけ、私たち3人もホッとしました。

来年度は1. 摂食・嚥下のメカニズムと評価については植木さんが担当することになっていま

日時：平成27年1月24日(土) 13時30分～16時

会場：タウンホールとみか(富加町)

内容：①「摂食・嚥下のメカニズムと評価」

岐阜県立多治見病院 看護師 二村洋代氏

②「パーキンソン病のある患者の看護」

岐阜県総合医療センター看護師 田中さとみ氏

③「認知症の患者への看護」

JA 岐阜厚生連高山厚生病院 看護師植木敏子氏

す。テーマは同じですが担当者の個性があるので私も楽しみにしています。2. 高次脳機能障害のある患者の看護を二村が3. 誤嚥性肺炎のある患者の看護を田中さんが担当する予定です。ご都合がつけば是非ともご参加下さい。

### 【アンケート結果】

1. 研修の内容は理解できましたか。

できた(50%)、だいたいできた(50%)

あまりできなかった(0)、できなかった(0)

Ⅱ. 研修の進め方はよかったですか。

良かった(70%)、だいたい良かった(30%)

あまり良くなかった(0)、良くなかった(0)

Ⅲ. 今回の研修を今後の実践活動に活かすことができますか。

できる(50%)、だいたいできる(45%)

あまりできない(0)、できない(0)

その他「活かしたいと思う」他(5%)

### 会費納入のお願い

納入金額：年会費 1,000円

未納者は宛名ラベルの西暦横に未と記しています。

振込先：郵便振替 加入者 岐阜県嚥下障害研究会  
口座番号 00890-3-114142

締め切り：8月末日

\* 通信欄に「〇〇年度分会費」とご記入願います。

\* “振替用紙の控え”をもって 会員証とします。

\* **2年間会費を滞納すると、退会となります。**

(注) 未入会者は 入会申込み手続きが 別途必要！  
問い合わせ：土岐市立総合病院リハビリテーション部

言語聴覚士 加藤まで

メール または FAX 0572-54-8488

アドレス: jimukyoku-honbu@gifu-psd.com

## 第3回 研修会レポート

### 第3回研修会に参加して

社会福祉法人 岐阜県福祉事業団  
障害者支援施設（知的）  
岐阜県立はなの木苑  
リーダー 三宅佐代子  
看護師 安藤照美

研修会に参加させていただき、どうもありがとうございました。

今 現在、研究会の方で、どんな事がなされているのかが良く分かりました。

山内ホスピタルの言語聴覚士の鈴木さんの発表は、きちんとした資料の元に整然とした実践がなされていると感じました。私達の施設では、管理栄養士、看護師、委託業者の栄養士、職員の方々の協力で、「スプーン何杯で〇〇だ」というようなデータは取っていませんが、利用者さんに対して、「今日はとろみがゆるい」、「今日はちょっと固い」、「この食材ではむせがひどかった」など、支援者が感じるとすぐ厨房へ出向き対応をしてもらっています。まだまだ手探り状態ですが、70人と小さな施設ですので、どの利用者さんで、摂食嚥下機能はどんな状態で、この食事を摂ってみえるのかを、関係者がお互いを理解している強みはあると感じました。

また、県立多治見病院の看護師の二村さんの情報共有の取り組みが、スムーズに行えるようになる事はすばらしい事だと思いました。当苑の利用者さんが入院された場合、食事は「ソフト食で」とお願いしますが、ミキサー食、きざみ食での対応しかできませんという返事をもらう時もありま

日時：平成27年3月7日（土）13：30～16：30

会場：タウンホールとみか（富加町）

内容：1. 活動発表 30分×3名

①「訪問歯科診療の取り組み」

岐阜県歯科医師会 歯科医師 萩谷 勲信氏

②「岐阜摂食・嚥下多職種連携研究会

（ごっくんネット）の活動報告」

山内ホスピタル 言語聴覚士 鈴木 勝氏

③「地域における嚥下調整食・摂食方法について  
情報共有の取り組み」

岐阜県立多治見病院 看護師 二村 洋代氏

2. 講演 60分

「訪問歯科衛生士としての地域で17年間の

取り組み～小児、成人、高齢者～」

多治見口腔ケアグループはねっと

歯科衛生士 栗木 みゆき氏

す。（実際、ソフト食を作るのには手間がかかるそうです。）施設では、高齢化が進むと、一気に体的にも落ちてしまいます。誤嚥性肺炎で入院を繰り返す利用者さんもあり、26年度はチームを組み、食事支援に力を入れてきました。「摂食嚥下連絡表」は、現場でもすぐ役立つものだと思います。看護師とこれが1枚あれば、入院時や他施設移行時にも助かるねと話していました。

訪問歯科衛生士の栗木さんの話には、もっともだと感じる事がたくさんありました。苑では、地域の歯科医師の方に協力していただき、年1回、全員対象とした口腔ケアを実践しています。利用者さんを7～8人のグループに分け、歯科医師、歯科衛生士さんに来ていただき、職員も一緒に歯磨き指導を受けています。日々の事ですので、本当に積み重ねが大事だと痛感しています。お互いの顔が見える支援は大切な事だと思います。

1つの施設の中で、お互いの立場で検討しながら、利用者さんの健康、安全を守ることができれば最高だと思います。

岐阜県嚥下障害研究会 ホームページ開設しました

岐阜県嚥下障害研究会

検索 ← クリック



## 研修会・学術講演会案内

### 第18回 摂食嚥下リハビリテーション 初級講習会

日時：平成27年8月23日（日）  
9時30分～16時

場所：タウンホールとみか 小ホール

内容：1. 摂食嚥下のメカニズム  
2. 摂食嚥下障害者の加齢による影響  
3. 摂食嚥下障害の評価  
4. 間接訓練、直接訓練  
5. 食支援に必要な血液生化学データの基礎知識  
6. リスク管理：低栄養、脱水、誤嚥、窒息、  
7. 口腔ケア（演習を含む） など

講師：加藤孝憲氏 土岐市立総合病院 言語聴覚士  
豊島義哉氏 国立病院機構東名古屋病院言語聴覚士  
川口千治氏 朝日大学附属病院 歯科衛生士  
参加費：会員1,000円 非会員3,000円

### 平成27年度 第2回研修会（成人領域）

日時：平成27年9月26日（土）午後2時～4時  
場所：土岐市立総合病院 核医学棟 3階大会議室  
内容：講義と実技

「症状に応じた摂食嚥下訓練の実際」

講師：小島千枝子先生

（元 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部  
言語聴覚学科 教授）

参加費：会員2,000円 非会員3,000円  
※参加費にKスプーン1本の代金を含みます

### 第18回岐阜県嚥下障害研究会 学術講演会 東濃大会

### 平成27年度 第1回研修会（小児領域）

日時：平成27年5月30日（土）  
10時～15時30分

場所：岐阜県立希望が丘学園2階 リハビリ課ホール

内容：小児の口腔ケアの実際  
～口腔機能訓練につながる口腔ケア～

日程：9:30 受付開始  
10:00 講義と実技  
～症例に応じた口腔ケアの実際と  
口腔機能を高める口腔マッサージ～  
※ 当日は 動きやすい服装でご参加ください  
15:00 質疑応答/連絡事項/アンケート  
16:00 終了

講師：多治見口腔ケアグループはねっと 代表  
栗木みゆき氏 歯科衛生士

参加費：会員 1,500円、非会員 2,000円

日時：平成27年11月22日

9:00～10:00 受付  
10:00～10:05 開会式  
10:05～12:05 特別講演  
「地域で“たべる”をささえるということ」  
講師：菊谷 武先生 日本歯科大学 教授  
12:05～12:15 モグモグ手帳（仮称）  
の運用について  
12:15～13:15 昼食 \*嚥下障害補  
助食品&口腔ケア用品の展示・書籍紹介  
13:45～15:45 討論会  
「そこまで言っていないかい」  
15:45～15:50 閉会式

参加費：会員 2,000円、非会員 3,000円

一 編集後記 一 第2回研修会は、「K-point 刺激」でおなじみの小島千枝子先生をお迎えして、さまざまな症状に対応したアプローチの実際について、実技を交えてお話をさせていただく予定です。TOYO